平方根

平方と平方根・

- ・2乗する(平方する)とaになる数をaの平方根という
- ・正の数には絶対値が等しく、符号が異なる平方根が2つ存在
 - -(正の数)×(正の数)=(正の数)、(負の数)×(負の数)=(正の数)
 - -正と負まとめて表す場合は±(プラスマイナス)
- のの平方根は0だけ

$$2^2 = 4$$
 $(-2)^2 = 4$

2は2乗すると4になる数なので4の平方根 -2は2乗すると4になる数なので4の平方根 ⇒4の平方根は±2

1の平方根は±1

9の平方根は±3

16の平方根は±4

100の平方根は±10

小数や分数の場合も……

0.01の平方根は±0.1

0.04の平方根は±0.2

0.25の平方根は±0.5

2乗すると2になる正の数は1.4142…と限りなく続く小数 →新しい記号と数の表現方法を学ぶ!

<確認問題>

- (1) 次の数について、 25の平方根であるものをすべて答えよ。
- (\mathcal{P}) 5
- (7) 25
- (ウ) 125

- (3) 次の数について、 10000の平方根であるものをすべて答えよ。
- (7) 10
- (7) 100
- (ウ) 1000
- (2) 次の数について、 9/4 の平方根であるものをすべて答えよ。
- (\mathcal{T}) $\frac{3}{2}$
- $(1) -\frac{3}{2}$
- (ウ) $-\frac{9}{4}$
- (エ)

- (4) 次の数について、 0.09の平方根であるものをすべて答えよ。
- (7) -0.3
- $(7) \quad 0.3$
- (ウ) 0.03
- (I) -0.03

平方根

平方と平方根

- ・2乗する(平方する)とaになる数をaの平方根という
- ・正の数には絶対値が等しく、符号が異なる平方根が2つ存在 -(正の数)×(正の数)=(正の数)、(負の数)×(負の数)=(正の数)
 - -正と負まとめて表す場合は±(プラスマイナス)
- ・0の平方根は0だけ

$$2^2 = 4$$
 $(-2)^2 = 4$

2は2乗すると4になる数なので4の平方根 -2は2乗すると4になる数なので4の平方根 ⇒4の平方根は±2

1の平方根は±1

9の平方根は±3

16の平方根は±4

100の平方根は±10

小数や分数の場合も……

0.01の平方根は±0.1

0.04の平方根は±0.2

0.25の平方根は±0.5

2乗すると2になる正の数は1.4142…と限りなく続く小数 →新しい記号と数の表現方法を学ぶ!

(3) 次の数について、

<確認問題>

(1) 次の数について、 25の平方根であるものをすべて答えよ。

 (\mathcal{P}) 5 $5^2 = 25$

(7) 25

 $25^2 = 625$

(ウ) 125

 $125^2 = 15625$

 (\mathcal{P})

(7) 10 $10^2 = 100$ (7) 100 $100^2 = 10000$

(ウ) 1000

 $1000^2 = 1000000$

(イ)

(2) 次の数について、 9の平方根であるものをすべて答えよ。

 $(\frac{3}{2})^2 = \frac{9}{4}$

 $\left(-\frac{9}{4}\right)^2 = \frac{81}{16}$

(エ)

 $(\frac{9}{4})^2 = \frac{81}{16}$

(ア)(イ)

(4) 次の数について、

0.09の平方根であるものをすべて答えよ。

10000の平方根であるものをすべて答えよ。

(7) -0.3

 $(-0.3)^2 = 0.09$

 $(7) \quad 0.3$

 $0.3^2 = 0.09$

(ウ) 0.03

 $0.03^2 = 0.0009$

(I) -0.03

 $(-0.03)^2 = 0.0009$

(ア)(イ)